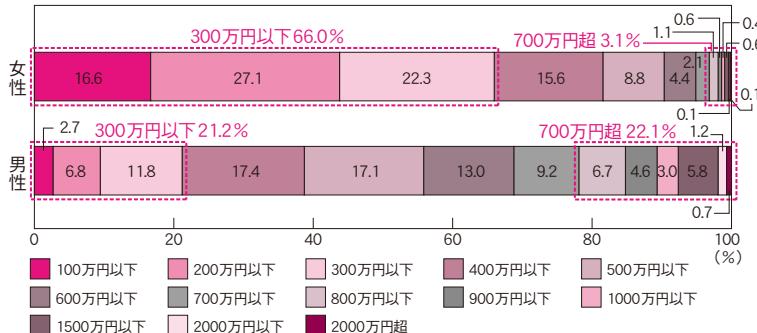


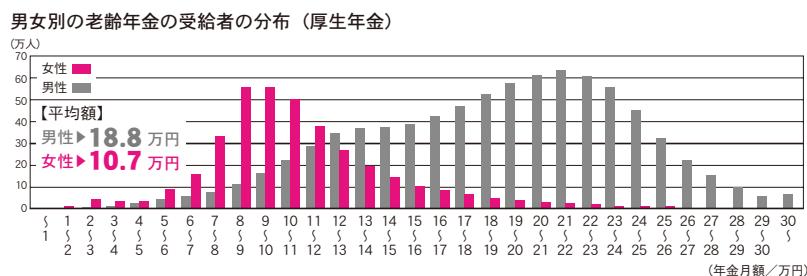
## 特集 女子大生が考える未来のライフスタイルって?

(資料1) 男女の給与格差



(備考) 国税庁「民間給与実態統計調査」(平成19年度)より作成

(資料2) 男女の年金格差



(注) 定額部分、基礎年金を含む。 (資料) 社会保険庁「社会保険事業の概況」2006年度より作成

(資料3) GEM、GGIにおける日本の順位

GEM (ジェンダー・エンパワーメント指数)		GGI (ジェンダー・ギャップ指数)			
順位	国名	GEM値	順位	国名	GGI値
1	スウェーデン	0.909	1	アイスランド	0.828
2	ノルウェー	0.906	2	フィンランド	0.825
3	フィンランド	0.902	3	ノルウェー	0.823
4	デンマーク	0.896	4	スウェーデン	0.814
5	オランダ	0.882	5	ニュージーランド	0.788
6	ベルギー	0.874	6	南アフリカ共和国	0.771
7	オーストリア	0.870	7	デンマーク	0.763
8	アイスランド	0.859	8	アイルランド	0.760
9	ドイツ	0.852	9	フィリピン	0.758
10	ニュージーランド	0.841	10	レソト	0.750
57	日本	0.567			
			101	日本	0.645

(資料) 内閣府男女共同参画局「女性の政策・方針決定参画状況調べ」(平成21年12月)

※1 GEM  
ジェンダー・エンパワーメント指數  
(Gender Empowerment Measure)

国連開発計画 (UNDP) による指

数で、女性が政治及び経済活動に参  
画し、意思決定に参画できるかどう  
かを測るもの。具体的には、国会議  
員に占める女性割合、専門職・技術  
職に占める女性割合、管理職に占め  
る女性割合、男女の推定所得を用い  
て算出している。

※2

GGI  
ジェンダー・ギャップ指數  
(Gender Gap Index)

世界経済フォーラムが、各国内の  
男女間の格差を数値化しランク付け  
したもので、経済分野、教育分野、  
政治分野及び保健分野のデータから  
算出される。

平成22年度版「男女共同参画白書」より抜粋

彼、私はみるみるお局様」というのがありました。これは同じように働いていても女性と男性の状況が違うことを風刺したもの。このような格差があると、自分のやる気も起きなくなってしまいまして、同じ条件でずっと働きたいと思っています。

**堀内：**総合職と一般職では給料も違います。その分、一般職に転勤はありませんが、転勤や残業があつても給料が多いし、自分がやりたい仕事だったので、私は総合職を選びました。給与と年金に関して思うことは、役職に就くのは男性が多く、

どうしても男性の方が給料も多くなるということです。これは会社で役職に就いている女性がほんの一部で、そういうところが年金にも反映しているのではないかなと思います。

**司会** 資料3では、GEM(※1)が109カ国中57位、GGI(※2)が134カ国中101位ですが、日本の順位の低さについてどう思いますか?また女性議員の数を増やすにはどうしたら良いかと思いますか?

**堀内：**授業で初めてGEM・GGIを見たときは衝撃を受けました。北欧系が上位を占めていますが、日本も少し努力をすれば順位が上がっていく要素もあるのではないかと思います。女性議員は増え

てほしいですが、議員は激務だと思うので、女性が家事や育児をしながら行ついくには協力が必要です。でも、できなことを全部男性のせいにするのではなく、女性の意識改革も必要だと思います。

**黒川：**例えば、ルワンダなどは世界で一番女性議員の比率が高いですが、それは、

国連の指導で、あらゆる意思決定機関の少なくとも30%を女性にするというクオータ制導入などの大きな動きがなければ、女性も参加しづらかったと思います。社会を変えるためには、女性自身が問題意識を持って、主体的に政治に参加して

## 世界の中の日本について